

今後の検討の進め方について（案）

1. 検討事項

- 再商品化手法のバランスのとれた組み合わせの在り方
 - 優れた材料リサイクル事業者を優先とするため、適切な透明性確保に向けたトレーサビリティの更なる拡充や、品質性能基準に係る各事業者の取り組み度合いによって総合的に優先度合いを決める取扱の在り方
 - 優先的取扱を市町村申込量の一定割合とすることの妥当性
- 材料リサイクルの質の向上
 - 材料リサイクル手法の質の向上のための技術開発の在り方
 - 製造事業者等におけるリサイクル配慮設計等の推進（製品の単一素材化、分離容易化、表示等）
 - 消費者に対する分別排出の徹底
 - リサイクルを前提とした適切な分別収集の在り方
- 適正かつ安定的なリサイクルの確保
 - 不適正行為等に対する措置の強化
 - 新たな契約方式の導入の可能性（複数年契約、年間複数回契約 等）
 - 適正な再商品化コストと入札上限価格の在り方
 - 国や製造事業者等におけるリサイクル製品の利用拡大
- その他
 - 市町村によって焼却等されている廃プラスチックのリサイクル推進
 - 環境負荷分析（地球温暖化対策の観点も含めた評価） 等

2. 検討スケジュール

- 本年6月を目途に一定の取りまとめを行い、平成22年度分入札へ反映することとしてはどうか。
- 上記取りまとめ以降、残された課題について、必要に応じ、審議を継続することとしてはどうか。

<スケジュール（案）>

平成21年4月 7日	第1回	今後の検討の進め方について（案） 等
4月24日	第2回	関係者からのヒアリング
4月28日	第3回	関係者からのヒアリング
5月	第4回	論点整理
6月	第5回	取りまとめ（案） パブリック・コメント 取りまとめ

以降、必要に応じ、審議継続